

にしまるやま通信

NO.49

2008年
1、2月号

2008年 年頭所感

新年を迎えても決して喜んでいられない厳しい現実が、医療界を含めて日本中を覆っています。奇しくも去年の漢字は『偽』でした。そして大小問わず色々な企業の不祥事が取り沙汰されましたが、その根源的『偽』りは、国家にあったと云う事です。即ち、政府を中核として行政・立法・司法のすべての国家権力の『偽』りにこそ、私達国民一人一人が目を向けるべき2008年だと思います。小泉政権以来特にひどくなった国政の特色は、アメリカいいなり、財界いいなり、そして戦争したがりの三つです。毎年削られる2000億円以上の社会保障費と、米軍への思いやり予算が2000億円以上というのは、決して偶然とは思えません。1980年代末以来、低下し続けた法人税率と、その恩恵を受け、バブル期以上の収益を上げた大企業が免れた税金の合計金額150兆円以上と、同時期に導入された消費税で私達が納めた税金がほぼ150兆円以上というのも、とてもとても偶然とは思えません。



溪仁会 西円山病院院長 峯廻 攻守

そして、接待漬け、ゴルフ漬けになる防衛省の官僚と、水増し請求して処分?を受けても、受注が継続されるという摩訶不思議な軍需産業のためには、決して削られる事のない毎年5兆円規模の防衛予算。一方では、生活保護世帯の切り捨て、母子家庭の切り捨て、高齢者医療・介護の切り捨て、ワーキングプアを更に生み出す法案が次々と立案される……。

そして消えた年金問題。

これらはすべて国民を欺き、『偽』りによって塗り固められたコンプライアンスの喪失そのものであり、国民いじめの政治そのものだと私は考えています。決して『構造改革』などという意味不明の言葉に惑わされてはいけません。そして、極めつけの大嘘は、政府が国・地方自治体の財政破綻を錦の御旗にしている事です。確かに国・地方の総債務残高は1000兆円以上にもなりますし、夕張の例もあります。しかし日本は金融資産、土地などを含めた固定資産を合計すると1000兆円前後保有しているのです。今なら未だ間に合います。そしてもっと具体的に云うと、憲法違反の政党助成金が年間約300億円以上です。2年分で夕張が救えます。そして今のままの『偽』りの政治が続くと第2、第3……の夕張が続きます。そのためにも政党助成金は廃止すべきです。いずれにしても2008年のそう遠くない時期に衆議院選挙がありそうです。その時こそ国家の『偽』りを見抜き、清き一票を投ずることができるかどうか、国民一人一人の“民の知恵”が試される重大な選挙となると思います。

私個人も『偽』りに対する『怒』りをバネに2008年も全職員と“知恵と情熱”を共有して患者さんが安心できる医療の提供を目指し、一歩ずつ前進したいと思います。

2008年1月元旦

- 年頭所感
- 後期高齢者医療制度
- クリスマスコンサート
- 琴コンサート
- 確定申告
- 温度と湿度の関係!
- にこここコラム
- 編集後記

西円山病院
外来のご案内

■診療科目 内科・循環器科・
リハビリテーション科・
神経内科・歯科

■診 療 午前9:00～12:00
午後2:00～4:00
■休 診 土曜日・日曜日・祝日

《後期高齢者医療制度について》

平成20年4月より後期高齢者医療制度がスタートします。

75歳以上の人は、現在国民健康保険や被用者保険などの医療保険制度に加入しながら、老人保健制度で医療を受けていますが、これからはそれを脱退し、新しく創設される後期高齢者医療制度で医療を受けることになります。

新しい制度の目的～ 老人医療費を中心に国民医療費が増大するなか、国民皆保険を維持し、医療保険制度を将来にわたり持続可能なものとしていくため、高齢社会に対応した仕組みとして、高齢者世帯と現役世帯の負担を明確化し、公平でわかりやすい独立した医療制度を創設するものです。

	老人保健制度	後期高齢者医療制度
運営主体	市町村	都道府県単位で全市町村が加入する広域連合
加入形態	<p>それぞれの国民健康保険や被用者保険などの医療保険に加入</p> <p>市町村が行う老人保険医療を受ける</p> <p>保険証</p> <p>老人保健</p>	<p>それまでの国民健康保険や被用者保険などの医療保険を脱退し、高齢者医療制度に加入。</p> <p>保険証</p>
対象者	75歳以上 (一定の障害のある人は65歳以上)	同左
負担割合	1割負担 (現役並み所得者は3割負担) ※現役並みの所得を有する者は3割	同左
保険料	老人保険制度自体での保険料の負担はない (加入する健康保険に保険料を納付)	北海道後期高齢者医療広域連合に保険料を納付 ※個人単位で納付

患者負担～ 医療機関の窓口では現行の老人保険制度と同様、かかった費用の1割(現役並み所得の方は3割)を払います。月ごとの上限が設けられており、入院の場合は同一の医療機関の窓口で支払う負担額は月ごとの上限額までとなります。なお新たに高額医療・高額介護合算制度が設けられます。同一世帯の被保険者において、医療保険の患者負担と介護保険の自己負担の両方が発生している場合に、これらを合わせた額について年額での上限額を設けて負担を軽減する制度です。

詳しくは、各都道府県の広域連合又は市区町村の窓口にお問い合わせください。

クリスマスコンサート

12月16日外来ロビーにて「クリスマスコンサート」が開催されました。今回は2部構成でハンドベル演奏の「サークルアニマート」、リコーダー演奏の「クローバーコンサート」の皆様に来ていただきました。ハンドベルの素敵な音色や、普段見たことのない種類のリコーダーもあり患者様、私たち職員も目や耳で楽しむことが出来ました。また、クリスマス衣装を着て参加してくださる患者様も居て、クリスマスらしい雰囲気により一層感じられました。



お琴コンサート

1月19日「お正月コンサート」が開催されました。去年に引き続きお琴アンサンブル「セシーリア」の皆様に来ていただき、今話題の「千の風になって」、「ふるさと」、「青い山脈」などおなじみの曲も含め全11曲を演奏していただき、とても盛り上がりました。ドレミニ琴という持ち運びにも便利なもので、大きさは従来の半分の約90センチ、演奏会終了後、琴を近くまで見に来られる患者様も多くいました。

確定申告

医療費控除について

平成18年分(1/1~12/31)の申告期間は2/16から3/15までです。

医療費控除の対象となる医療費 例え以下のようなものがあります。

- ・ 医師等による診療等を受けるための通院費、入院の部屋代や食事代の費用、コルセット等の医療費器具等の購入代やその貸借料で通常必要なもの。
- ・ 医師等による診療や治療を受けるために直接必要な義手、義足、松葉杖、義歯などの費用。
- ・ 傷病によりおおむね6ヶ月以上寝たきりで医師の治療を受けている場合に、おむつを使う必要があると認められる時のおむつ代。この場合には、医師が発行した「おむつ使用証明書」が必要です。

※介護療養型医療施設にご入所の方のおむつ代は、介護保険1割負担額に含まれるため、対象となりません。

詳細は住所地の税務署に確認して下さい

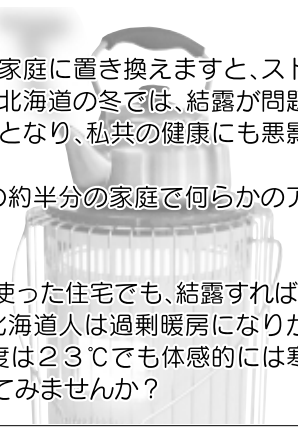
温度と湿度の関係!!

空気が暖かく成れば相対湿度は下がり、冷たくなれば、相対湿度は上がります。一般家庭に置き換えますと、ストーブの燃焼を高くすると温度は上がりますが、湿度が下がるということでしょうか？北海道の冬では、結露が問題となりますが、結露は、建物劣化の原因と成るばかりではなく、カビやダニの発生原因となり、私共の健康にも悪影響を及ぼします。

昭和40年代には、聞くことの無かったアレルギー症状ですが、現在では、日本人の約半分の家庭で何らかのアレルギー症状を持つと言われています。

私はこの主要原因が、結露の起きやすくなった現在の住環境に有ると考えています。

健康住宅という言葉が、頻繁に使われるように成りましたが、自然素材をふんだんに使った住宅でも、結露すれば、何にも成りません。健康な居住空間を保つには結露対策が重要と考えますが、まず、北海道人は過剰暖房になりがちで、室温が高く湿度が低くなっている傾向があります。湿度が55%以上保つと温度は23℃でも体感的には寒く感じません。健康のため、環境保全のため、今一度、ご家庭の温度・湿度をチェックしてみませんか？



にこにこ コラム

みなさん、年末年始はどのように過ごしましたか？私は約2年ぶりに函館に住む祖母のところへ遊びに行きました。家の目の前にはすぐ海が広がっていて、天気の良い時は下北半島を眺めることができ、夜景で有名な函館山も見えます。いつも美味しい魚介を用意してくれています★今回は…カレーとイカのお刺身です。私は高校時代に祖母と3人で暮らしたことがあり、毎朝6時台にイカ売りが来ます。そのイカ売りのおじさんへ向けて祖母は「孫(私)が起きるから静かにして!!!」と何とも自由な発言をしたことがありました(笑)。ありがたいことなんですが…。そんな祖母と一緒に近所の温泉へ行き、ゆーったりとしてきました！2泊3日とほんの少しの期間ですが、これもきっと親孝行ならぬ祖母孝行ですよ♪ 次は何を食べさせてもらおうかなあ…ではなく一緒にどこへ行こっかなあー。ちなみに写真は家から見える街の景色です。



編集後記

やっと北海道らしい冬がやってきました。冬といえば鍋や煮込み料理が美味しい季節ですが、最近は鹿肉が静かなブームとなっています。「えー！？鹿を食べるの？」と思う方もいるかもしれませんが、高タンパク低脂肪でヘルシーな肉なのです。しかもワイン好きにはもってこい！のお肉です。適度の運動と美味しい料理で、寒い冬を乗り切りましょう！！(M.T)

すべての
お問い合わせは

郵便

〒064-8557
札幌市中央区円山西町4丁目7-25
西円山病院 医療福祉課内
広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

お気軽にお問い合わせ下さい!

電話 (011) 644-1380
FAX (011) 642-4347

● 無料送迎バスのご案内 ●

(平成20年1月)

	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時
地下鉄駅発	55	35	15	10 50	30	10	30		※00 ※40	※45	※15 ※45	※15 ※45	※30	※35
西円山病院発		15 55	50	30	10 50		10	40	20	30	00 30	00 30	05 45	25 45

※のバスは地下鉄円山公園駅⑤番出口出発、その他はすべて①番出口となります。